

令和4年度 学校評価 自己評価書(2学期)

1 学校の重点目標

- 「自尊感情」「自己有用感」の育成 ～どの子供も心から「学校が楽しい」と思える中山小を目指して～
- 子供たちの夢の実現につながる確かな学力の定着 ～ラスト10分のチャレンジ～
- 体力の向上・健康的な生活習慣づくりの指導の充実 ～チャレンジかごしまへの取組・むし歯治療率85%～

2 課題と解決策

(評価の基準 4:達成率80%以上 3:60～79% 2:40～59% 1:39%以下)

子供像・重点課題	評価項目	職員の評価 (1学期との比較)	評価結果と3学期の改善方策
思いやりのある情操豊かな子供	1 元気な挨拶・会釈の指導	2.5 (+0.1)	・ なぜ挨拶をすることが大切なのかという点にも触れながら指導していく。
	2 自尊感情・自己有用感を育てる学級づくり	2.9 (+0.1)	・ 意図的に子供たち同士が褒め合う場を設定する。失敗を許せる雰囲気を作る。
	3 朝読書・図書室利用の推進による心の安定	2.6 (-0.4)	・ 学級での声掛けを行い、図書室を利用できる日を有効活用する。
	4 「揃える」指導の工夫・徹底 (スリッパ・机・いす)	2.6 (±0.0)	・ 継続的な声掛けと称賛を続ける。出来ない児童には一緒に行い習慣化する。
自ら考え共に学ぶ子供	5 主体的・対話的で深い学び	3.0 (+0.1)	・ 仲の良い友達とだけでなく、誰とでも対話しながら学べる関係を作っていく。
	6 ラスト10分のまとめ・習熟の時間の確保・確実な見届け	2.9 (+0.1)	・ 学習過程を工夫し、その時間の学習内容を習熟する時間の確保に努める。
	7 授業と連動した家庭学習の充実	3.2 (±0.0)	・ 低学年から学習する習慣を身に付けることが重要。保護者との連携も強化する。
	8 学習の準備等の生活習慣の確立	2.9 (+0.1)	・ 低・中学年は保護者との連携を強化する。中・高学年ではメモの活用をする
進んで最後までやり抜く子供	9 教科体育や自主的な体力づくり	3.1 (+0.4)	・ 運動することの楽しさ、伸びを自覚でき、成功体験を得られる授業を実施する。
	10 ルールやマナーを守った安全な登下校の指導の徹底	2.9 (±0.0)	・ 実例を示しながら、自分の命を自分で守るための行動ができるよう継続指導する。
	11 むし歯治療率85%の推進	3.1 (+0.2)	・ 治療済みの家庭が多い。継続した声掛けを行い、治療率85%を目指す。

3 3学期に向けての取組

- 「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を充実し、誰とでも協力して自ら学ぼうとする児童を育成する。
- 職員研修を通してタブレット端末の効果的な活用の仕方など ICT 教育についての理解を深める。
- 良い行いを進んで取り組めるように、道徳教育を充実させる。また、自尊感情・自己肯定感を高める声掛けを継続し、児童同士がお互いを認め合う取組を行う。
- 運動することの楽しさに気づける体育の授業(自分の伸びを自覚できる授業・成功体験を味わわせる授業)を実施し運動することが好きな児童を育成する。